

◎獨逸宣傳は天文学的虛偽

△哈府 六月三十日

六月二十八日外國通信員を含む第一回通信社會議が行はれた。

而して本會議に於て各通信員により提出された問題に對する回答は同志「ロソフキン」よりなきひな、即ち

問、何故にソ聯側の戰況報道が僅少であるか

答、獨逸側の宣傳放送が全世界を席巻し居る爲で吾々としては獨逸が行つてゐるが如き

天文學的情報を放す必要を認めず常に情報に検討を加へ居る爲であり、又獨逸の如き宣傳振りを敢て爲し得ない爲である

△モスクワ（ソ聯通信） 七月八日

獨逸側の虚報屋は實に無数の荒唐無稽な事を捏造してゐる。例へばソ聯のボルシエグイクは戦初五年間に八百八十の醫師を處刑したなど云つてゐるが當時露西亞には一萬九千七百八十五名を殺したに過ぎずこれでは一人につき四回半づゝ處刑した勘定である。獨逸側の紳士諸君は「餘り大變な事を云ふな」と云ふ金言を學ぶべきである。



第五十四號

昭・一六・七・一二 情報局

本資料は外國通信局發信内容を譯し、採録しあり、重慶又は第三國筋の宣傳の意圖による作爲的なる報道も少なからざるべきを以て取扱には特に注意を要す。

◎日本内部の意見對立と親獨派

日本動向に關し重慶側より出する報道は、國內は目標と手續に異論ありて愈々困難を加へあ
るも、親獨派の理論優勢にして英米勢力排除への傾向一般に強化せりと宣傳しあり。

△昆明電臺（ロイター社） 七月五日 北京語放送

（華府四日發）獨伊兩國の汪逆偽南京政權承認後中國は直ちに獨伊に對し絶交せり、當地各
界の極東事件注視者は之を聞き意外とせざりき、中國が終始侵略主義に反抗せる事はワシ
ントンの贊成する所にして一般は獨伊兩國の承認は中國をして之と絶交せしむる以外別の